

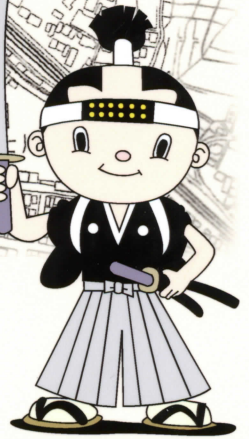
# こうぶじょう たんじょう 甲府城の誕生

こうぶじょう とよとみひでよし かしん あきのながまさ よしながらし いま  
甲府城は豊臣秀吉の家臣 浅野長政・幸長父子により、今から  
ねんまえ かんせい  
400年前に完成しました。  
げんざい てんしゅだい しろ ちゅうしん ぶ ぶん のこ こうぶえき  
現在は、天守台など城の中心部分しか残っていませんが、甲府駅や  
やまなしけんちやう えとじだい しろ ほんい  
山梨県庁までが江戸時代の城の範囲です。



がわら  
シャチホコ瓦

- きんぱく の ついた シャチホコ瓦 や 鬼瓦 が 出土 している ことから、  
ちくじやうとうしよ てんしゅかく  
築城当初には天守閣があったかもしれません。
- きやうだい しぜんせき ちくじやうとうしよ つ いしがき  
巨大な自然石は築城当初に積まれた石垣です。
- ユニークなことに、城の中には温泉が湧いていました。



てんしゅだい いしがき  
天守台の石垣